

令和 2 年 第 2 0 回 教 育 委 員 会 会 議 録

招集年月日	令和 2 年 1 0 月 5 日
招 集 場 所	日南町役場 第 2 会議室
開 会	午前 1 1 時 2 5 分 教育長宣告
出席委員	伊田教育長 中島教育委員 中村教育委員 西村教育委員 山脇教育委員
欠席委員	なし
議 案	なし

議 事 日 程		議 事 の 経 過
日程その他	発 言 者	発 言 の 要 旨
協議・報告	<p>教育長</p> <p>教育長 事務局 教育長</p>	<p>第 2 0 回教育委員会を開会します。</p> <p>議事録署名委員は中島委員</p> <p>○令和 3 年度とっとり学力・学習状況調査について</p> <p>※資料により内容説明</p> <p>標準学力調査は、市町村は早い時期から取り組んできた。年に 2 回実施する学年もある。全国学テは小 6 と 中 3 しか実施しない。以前、小学校は鳥取県診断テストがあり、国語と算数を行っていた。全県で同じ問題に取り組んでいた。平均点が高く、信憑性があるかどうかの議論もあった。今は、県の診断テストはなくなっている。それで、とっとり学力・学習状況調査をやろうということになり、米子市、鳥取市が今年度試行的に行った。令和 3 年度は全県で取り組んではどうかという県からの提案である。令和 3 年度は小 4 から 中 1、令和 4 年度は小 4 から 中 2 で取り組みたいという提案が昨年末にあった。スケジュールも県が提案し、結果を公表するという事だった。標準学力調査はずっと続けているので、経年の子どもの伸びは見ていけると思う。埼玉市が取り組んでいてとても良いので、</p>

教育委員	鳥取県もやっってはどうかということ。標準学力調査もやっているの、どうするか。
教育長	今までの県診断テストはやっているのか。
教育委員	昨年もなかった。H30にはやめていたと思う。
教育長	鳥取市、米子市以外がやめるとすれば、他の町村との連携はどうか。
教育委員	江府町からは、相談されたが、やらないという判断を聞いた。ほとんどの郡市はやらないということだ。1年目に公表する意味はないと思っている。
教育委員	少ない人数の学級は、公表は厳しいだろう。
教育委員	現場も、学習の評価をどうしようとしているか。
教育委員	標準学力調査で測れないものはあるか。
教育長	それはないと思う。小2から中2までは、年に2回やっている。指導改善をどうしているか。
事務局	個人の分析、学級の分析は業者が行っている。学校での指導に充分生かしているかということそうではない。補充プリントもなかなか取り組めていない。指導改善には、まだ結びついていない。
教育長	事務局からの提案がうまくできていない。1回目の標準学力調査についての結果、評価等について、学校と地教委が協議できていない。町費で行っているの、しっかりと機能していくように努めたい。
教育委員	小学校の状況をみると、学力と無関係ではないと思う。学習以前についての協議が必要。
教育長	1回目の標準学力調査を見ると、昨年よりも明らかに下がっている。今の状況は、非常に学力と結びついている。
教育委員	このたびの、とっとり学力・学習状況調査について現場は知っているか。
事務局	郡の校長会で説明があった。小学校は、積極的にぜひ・・・ということはない。教育員会の決定に従うということ。中学校は、テストが増えることは嫌がっている。
教育長	町が把握できるテストは、学テと標準学力調査である。標準学力調査は中3でもやっているが、必ずやってもらいたい。統一模試にも町から費用が出ている。
教育委員	現在の標準学力調査で分かるのなら、無理にとっとり学力・学習状況調査をやらなくてもいいのでは。日南町の学力を捉えるなら、これにとらわれなくてもいい。
教育委員	高校受験する際、自分の子どもがどこの位置にいるか分からない。他の町村が参加されなければ意味

その他	事務局 教育長	がない。 保護者への返し方について、また文書等、確認したい。 保護者がどこまで分かっているか、改善できるところは改善したい。標準学力調査を続けていく上で改善していきたい。では、①今までの標準学力調査で、町のものさしを持っていること②取り組みの改善を図ること③学習の基盤をもっときちんとすることとまとめさせていただく。したがって、とっとり学力・学習状況調査については、採用しないということによいか。
	教育委員 教育長	異議なし。 ○教育委員会の開催予定について 第21回 10月13日(火) 13時30分
	教育委員	現場でのあいさつが課題だと思っている。その原因を突き止めると、家庭教育にあると思う。こちらから声をかけても、表情のない子どもが多い。そうした子どもが大人になるのに不安がある。家庭の教育に結び付くと思う。まず、教育委員会から立て直さないとダメ。まず、我々から全町に広げていきたい。その提言を教育委員会からやっつけていこうではありませんか。
	教育長	事務局からあいさつしていきたい。先日、せい子ども園の中山副園長先生が、親が保育園の先生にあいさつするモデルを示すことが大切だと話をされた。役場からやらないといけないと思っている。あいさつは、教育課からがんばりたい。 以上で第20回教育委員会を閉じます。

会議の経過を記載し、相違ないことを証するためにここに署名する。

日南町教育委員会 教育委員